

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **休日保育事業**

[0146]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成18年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>休日保育を必要とする児童</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>休日保育を必要とする児童の子育て支援を行う</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>休日保育利用申込書により 休日保育実施園又は保育課へ申請する。利用料は1人目1日2,500円、2人目以降は1日1,200円。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	休日保育希望登録者数	人	27	37	35	50
対象指標2						
活動指標1	休日保育実施園数	園	1	1	1	1
活動指標2						
成果指標1	休日保育利用児童数 (延べ)	人	195	304	426	400
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	3,902	3,843	3,843	3,903
正職員人件費 (B)		千円	1,660	1,612	1,605	1,619
総事業費 (A) + (B)		千円	5,562	5,455	5,448	5,522

費用内訳	
23年度	委託料 3,843千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

日曜、祝祭日勤務などの就労形態の変化に対応するため、休日保育の実施について要望がある。

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

非正規職員としての雇用が中心ながらも女性の就労は増加しており、就労形態も多様化されている現状において、休日に保育に欠ける児童もおり、国の特別保育事業に定められた事業であることから妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

就労形態の多様化に伴う保育ニーズに応えるもので、子育て環境の充実はもとより、ワーク・ライフ・バランスの推進にも繋がっており、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

年間延べ利用者も年々増加しており、休日保育により安心して仕事に取り組めるなど、多様化する保育ニーズある程度応えることができることから成果が上がっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

現在、民間保育所1施設で実施しているが、今後の需要の動向に応じ実施施設の拡大を図るなど体制を整備することにより成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

休日保育を実施するうえで必要不可欠な人件費等の補助であるため、コストの削減の余地はない。